

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

「変化」について

1. 入社してから今までの振り返る (2017 年 5 月 ~)

- ・ 入社当初 ... 「会計士としての知見を活かした支援業務」がメイン
(例) 管理会計の構築、IPO 短期調査、財務 DD、業務効率化に向けた課題調査など
- ・ 2020 年頃 ... 「経営改善・再生支援」メインにシフト
→ 複数の案件で、事業計画策定時に金融機関から厳しい指摘を受ける。
「この利益計画に蓋然性はあるのか?」「この利益を達成できなかった場合はどうするのか?」
→ 限りある情報の範囲でお客さまと苦労しながら説明のロジックを検討、時として、より抜本的な施策 (人員削減) についても協議。
→ 経営者の皆さまがどういうことを考えているのか、一方で金融機関はどういうことを考えているのか、案件の支援を通じて勉強に。
- ・ 今後、持続的な経営を実現するためのとるべき手段の提言・実行支援にも挑戦。

2. 自身の課題と今後について

- ・ 自身が 20 代、30 代の頃と比較して、「変化」できているのか? 今後も「変化」できるのか?
→ 「変化」はエネルギーを要する一方で、体力は徐々に衰えている。
→ しかし、ChatGPT の登場などにより、今の業務は 5 年後・10 年後も存在しなくなるかも。
- ・ ベテランとか若手とか関係なく、MC の皆さんの力をお借りしながら「変化」すれば良いのでは。
→ 新たな機会に身を置く。(興味ある取り組みだけでなく、リーダーとして必要な取り組みにも)
→ 対応をお願いしたいことはお願いする、お願いの仕方を考えることでそれを可能にする。
→ スピード 3 倍。お客さまの期待を念頭に置いたゴール設定とゴール到達のための業務設計。